

臨床実習アドバンスト

責任者名：本吉 満(歯科矯正学 教授)、清水 治(口腔外科学Ⅱ 准教授)、岡 俊一(歯科麻酔学 教授)、萩原 芳幸(歯科補綴学Ⅱ 教授)、小峰 太(歯科補綴学Ⅲ 教授)、高山 忠裕(歯科保存学Ⅲ 准教授)

学期：前期

対象学年：6年

授業形式等：実習

◆担当教員

田中 孝佳(口腔外科学Ⅰ 専任講師)
佐藤 貴子(口腔外科学Ⅰ 専任講師)
篠塚 啓二(口腔外科学Ⅰ 専任講師)
荻澤 翔平(口腔外科学Ⅰ 助教)
草野 明美(口腔外科学Ⅰ 助教)
米原 啓之(口腔外科学Ⅱ 教授)
清水 治(口腔外科学Ⅱ 准教授)
生木 俊輔(口腔外科学Ⅱ 専任講師)
古川 明彦(口腔外科学Ⅱ 助教)
白土 博司(口腔外科学Ⅱ 助教)
玉川 崇皓(口腔外科学Ⅱ 助教)
岡 俊一(歯科麻酔学 教授)
小柳 裕子(歯科麻酔学 准教授)
北山 稔恭(歯科麻酔学 助教)
武田 ひとみ(歯科麻酔学 助教)
金子 啓介(歯科麻酔学 助教)
本吉 満(歯科矯正学 教授)
伊藤 智加(歯科補綴学Ⅰ 専任講師)
池田 貴之(歯科補綴学Ⅰ 専任講師)
李 淳(歯科補綴学Ⅰ 専任講師)
浦田 健太郎(歯科補綴学Ⅰ 専任講師)
西尾 健介(歯科補綴学Ⅰ 助教)
岡田 真治(歯科補綴学Ⅰ 専修医)
伊東 慧(歯科補綴学Ⅰ 兼任講師)
黒田 和己(歯科補綴学Ⅰ 兼任講師)
小川 将史(歯科補綴学Ⅰ 専修医)
萩原 芳幸(歯科補綴学Ⅱ 教授)
月村 直樹(歯科補綴学Ⅱ 准教授)
大谷 賢二(歯科補綴学Ⅱ 専任講師)
大山 哲生(歯科補綴学Ⅱ 専任講師)
秋田 大輔(歯科補綴学Ⅱ 専任講師)
安田 裕康(歯科補綴学Ⅱ 助教)
大久保 貴久(歯科補綴学Ⅱ 専修医(講座))
金沢 孝憲(歯科補綴学Ⅱ 専修医)

小峰 太(歯科補綴学Ⅲ 教授)
本田 順一(歯科補綴学Ⅲ 助教)
平場 晴斗(歯科理工学 助教)
窪地 慶(歯科補綴学Ⅲ 助教)
高田 宏起(歯科補綴学Ⅲ 助教)
木村 文晃(歯科補綴学Ⅲ 専修医)
赤羽 俊亮(歯科補綴学Ⅲ 兼任講師)
三上 圭子(歯科補綴学Ⅲ 専修医)
宮崎 真至(歯科保存学Ⅰ 教授)
陸田 明智(歯科保存学Ⅰ 准教授)
黒川 弘康(歯科保存学Ⅰ 准教授)
高見澤 俊樹(歯科保存学Ⅰ 准教授)
石井 亮(歯科保存学Ⅰ 助教)
小森谷 康司(歯科保存学Ⅰ 助教)
野尻 貴絵(歯科保存学Ⅰ 兼任講師)
柴崎 翔(歯科保存学Ⅰ 助教)
関東 英貴(歯科保存学Ⅰ 専修医)
武市 収(歯科保存学Ⅱ 教授)
林 誠(歯科保存学Ⅱ 教授)
清水 康平(歯科保存学Ⅱ 准教授)
勝呂 尚(歯科保存学Ⅱ 専任講師)
鈴木 裕介(歯科保存学Ⅱ 助教)
安川 拓也(歯科保存学Ⅱ 助教)
大原 絹代(歯科保存学Ⅱ 助教)
佐藤 秀一(歯科保存学Ⅲ 教授)
菅野 直之(歯科保存学Ⅲ 准教授)
吉沼 直人(歯科保存学Ⅲ 准教授)
高山 忠裕(歯科保存学Ⅲ 准教授)
間中 総一郎(歯科保存学Ⅲ 助教)
渡辺 典久(歯科保存学Ⅲ PD)

◆一般目標 (GIO)

多様な歯科医療ニーズに対応するために、第5学年の臨床歯科学で修得した基本的診断と治療の知識をもとに、さらに臨床で必要な歯科医学的知識および手技について理解を深める。

◆到達目標 (SBOs)

◇歯科インプラント学

- ・ 歯科インプラントにおける基本的な埋入術式および印象採得から補綴装置装着までの基本的な流れを体験学習する。
- ・ 演習を通して基本術式を理解し、それぞれの作業過程の意味、術式、使用材料の種類・使用方法・手技を修得する。
- ・ インプラント外科処置と密接に関連する全身状態の評価についても理解する。

◇補綴学

・臨床に必要な補綴学の知識および手技について理解を深める。

◇保存学

・臨床に必要な保存学の知識および手技について理解を深める。

◇口腔外科学

・臨床に必要な口腔外科学の知識および手技について理解を深める。

◇歯科麻酔学

・これまでに学修した座学での知識と臨床実習での体験を結びつけ、全身管理を実践できるレベルで歯科麻酔学を体系的に理解する。

◆評価方法

専門歯科学基礎実習と診療参加型臨床実習の成績で評価する。

成績評価表示（70%以上の点数に基づく SABC の 4 段階評価）とし、専門歯科学基礎実習評価点（40%）と診療参加型臨床実習評価点（60%）の合計が 70%以上で履修完了とする。

専門歯科学基礎実習評価点：

口腔外科学 + 歯科麻酔学 + 歯科インプラント学（各 100 点満点）で評価した合計点を 3 で除した値（小数点以下第 1 位を四捨五入した整数）を評価点とする。

診療参加型臨床実習評価点：

（保存評価×50%） + （補綴評価×50%）（各 100 点満点）で評価した合計点を 2 で除した値（小数点以下第 1 位を四捨五入した整数）を評価点とする。

◆オフィス・アワー

| 担当教員 | 対応時間・場所など | メールアドレス・連絡先 | 備考 |
|-------|---|----------------------------------|------------------------------|
| 米原 啓之 | 火曜日 17:00~18:00 口腔外科学第Ⅱ講座教授室（本館 5 階） | yonehara.yoshiyuki@nihon-u.ac.jp | オフィスアワーを活用する際には事前に日時を予約をすること |
| 萩原 芳幸 | 月曜日 17:00~18:00 歯科補綴学第Ⅲ講座研究室（本館 5 階） | | オフィスアワーを活用する際には事前に日時を予約をすること |
| 高山 忠裕 | 月曜日 17:00~18:00 歯科保存学第Ⅲ講座研究室（本館 6 階） | takayama.tadahiro@nihon-u.ac.jp | オフィスアワーを活用する際には事前に日時を予約をすること |
| 小峰 太 | 月曜日 17:00 ~18:00 歯科補綴学第Ⅲ講座（本館 5 階） | komine.futoshi@nihon-u.ac.jp | 事前にメールで連絡してください。 |
| 小柳 裕子 | 月曜日 17:00~18:00 歯科麻酔学講座研究室（本館 5 階） | koyanagi.yuuko@nihon-u.ac.jp | |
| | | | |

◆授業の方法

第6学年をグループ分けし、各項目を日程表に従ってローテーションしながら実習を行う。

【実務経験】全担当教員

全担当教員は歯科医師として日本大学歯学部附属歯科病院で臨床を実践しており、豊富な臨床経験を持っている。第5学年までに修得した臨床歯科医学を基盤とし、歯科医師臨床研修に必要な歯科医学的知識および手技について学ぶ場を、担当教員の実際の臨床経験を活かしながら提供する。

◆教材(教科書、参考図書、プリント等)

| 種別 | 図書名 | 著者名 | 出版社名 | 発行年 |
|-----|-------------------------|---------------|------|------|
| 教科書 | 令和4年度第6学年臨床実習アドバンスト学習要項 | | | |
| 参考書 | 口腔インプラント学実習書 | 日本口腔インプラント学会編 | 永末書店 | 2014 |

◆DP・CP

[DP-3]多岐にわたる知識や情報を基に、論理的な思考や批判的な思考ができる。

[DP-4]自ら問題を発見し、その解決に必要な基本的歯科医学・医療の知識とスキルを修得できる。

[DP-7]患者を中心としたチーム医療において、責任ある医療を実践するためのリーダーシップと協働力を養うことができる。

[CP3-3]基礎医学および歯科医学の知識を身につけ、臨床的な視点から問題を抽出できる。

[CP4-2]歯科医学に関する体系的知識を習得し、臨床的な視点から問題を解決することができる。

[CP5-1]医療推論に必要な医学知識を基に適切に診断し、治療計画を立案できる。

[CP5-2]歯科医師の責務を自覚し、チーム医療のメンバーとして協働することができる。

[CP5-4]臨床の体系的な知識および診査・診断と治療技能に関する基本的事項が修得できる。

[CP6-3]患者を中心としたチーム医療実践のため、責任あるリーダーシップと、適切なコミュニケーションを実践できる。

◆準備学習(予習・復習)

実習前に実習要項で各診療科の学修内容を理解しておくこと。

◆準備学習時間

実習時間の4分の1相当を充てて予習あるいは復習を行うこと。

◆全学年を通しての関連教科

隣接医学 I, II

保存科：保存修復学 I (3年前期), 保存修復学実習 I (3年前期), ベーシックカリオロジー (3年前期), 保存修復学 II (3年後期), 保存修復学実習 II (3年後期), クリニカルカリオロジー (3年前期), 歯内療法学 (4年前期), 歯周病学 (4年前期), 歯内療法学・歯周病学実習 I (4年前期), 歯内療法学実習 II (4年後期), 歯周病学実習 (4年後期), アドバンスト歯内療法学・歯周病学 (4年後期), 臨床実習 (5年通年)

補綴科：歯冠補綴学, 歯冠補綴学実習, 咬合学概論 (3年後期), 総義歯補綴学 I, 部分床義歯補綴学 I, 部分床義

歯補綴学実習Ⅰ，架橋義歯補綴学，架橋義歯補綴学実習，顎機能治療学（4年前期），総義歯補綴学Ⅱ，総義歯補綴学実習，部分床義歯補綴学Ⅱ，部分床義歯補綴学実習Ⅱ，固定性義歯補綴学，顎機能分析学，顎機能分析演習（4年後期）

第1教育診療科：炎症と臨床検査（3年後期），外傷と先天異常（3年後期），口腔外科手術時の患者管理（4年前期），口腔外科手術と顎変形症（4年前期），歯科麻酔学各論（4年前期），口腔外科治療の実際（4年後期）

◆予定表

各項目の詳細については，臨床実習アドバンスト要項を参照すること。

【授業期間】

3月14日～4月28日

【授業時間】

13：00～17：00

【注意事項】

- ・全出席を原則とする。
- ・特に集合場所および集合時間に留意すること。
- ・学生は指定されたグループに分かれローテイトして，専門歯科学基礎実習および診療参加型臨床実習を履修する。

I. 専門歯科学基礎実習

以下の各専門歯科診療について，疾患概念，病態生理，基本治療方針を見学実習，相互実習，模型実習，少人数講義を通して学修する。

- ・口腔外科学
- ・歯科麻酔学
- ・歯科インプラント学

II. 診療参加型臨床実習

5年次に行った診療参加型臨床実習で履修した項目についてさらに理解を深め，その技能やコミュニケーション能力を確実に学修する。実習を行う分野は以下の2分野とする。

- ・補綴学（総義歯補綴科，局部床義歯科，クラウン・ブリッジ科）
- ・保存学（保存修復科，歯内療法科，歯周病科）

| 回 | クラス | 月日 | 時間 | 学習項目 | 学修到達目標 | 担当 | コアカリキュラム |
|---|-----|----|----|---|---|------------------------|------------------|
| | 保存科 | | 8 | 1. 自験・介助・見学（感染症予防策を十分に考慮して実施すること） 担当医から配当された患者に対して治療を行う（自験する）。 自験終了後に自験ポートフォリオを作成すること。 ◇代表的な自験内容 1) 修復処置－コン | 共通事項 ・保存領域疾患に対する診査ができる。 ・保存領域疾患に対する治療計画の立案と説明ができる。 ・保存治療に必要な前処置ができる。 ・水準1および2の保存治療が実施できる。 ・患者に術後の治療内容が説明できる。 ・患者とコミュニケーションが図れる。 ・コンポジットレジン修復が適切に | 保存修復科 歯内療法科 歯周病科 | G-1-1) 臨床診断・治療計画 |

| | | | | | | |
|------|--|---|--|--|--|--------------------|
| | | | <p>ポジットレジン修復</p> <p>① 1～5級窩洞</p> <p>② 根面齲蝕</p> <p>③ くさび状欠損</p> <p>④ 咬耗症</p> <p>2) 歯内処置</p> <p>① 根管長測定</p> <p>② 根管拡大形成</p> <p>③ 根管充填</p> <p>3) 歯周処置</p> <p>① 歯周組織検査</p> <p>② ブラッシング指導</p> <p>③ 歯面研磨</p> <p>④ スケーリング・ルートプレーニング</p> <p>* 詳細については臨床実習アドバンスト要項を参照のこと。</p> | <p>できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 作業長の測定が適切にできる。 ・ 根管拡大形成が適切にできる。 ・ 根管充填が適切にできる。 ・ 歯周基本検査が適切にできる。 ・ ブラッシング指導が適切にできる。 <p>る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ PMTC が適切にできる。 ・ スケーリング・ルートプレーニングが適切にできる。 | | |
| 補綴科 | | 8 | <p>1. 自験・介助・見学（感染症予防策を十分に考慮して実施すること）担当医から配当された患者に対して治療を行う（自験する）。</p> <p>自験終了後に自験ポートフォリオを作成すること。</p> <p>* 詳細については臨床実習アドバンスト要項を参照のこと。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 補綴治療を行うための目的と意義が説明できる。 ・ 補綴治療に必要な基本的事項が説明できる。 ・ 補綴診療に関する基本的処置の診療介助が実施できる。 | <p>総義歯補綴科</p> <p>局部床義歯科</p> <p>クラウンブリッジ科</p> | F-3-4) 歯質と歯の欠損の治療 |
| 口腔外科 | | 8 | <p>1. 擦過細胞診</p> <p>2. 細菌検査</p> <p>3. 口蓋隆起形成</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 擦過細胞診について目的、手順、器具の使用方法を説明できる。 ・ 穿刺吸引細胞診について目的、手 | <p>口腔外科 II</p> <p>口腔外科 I</p> | E-2-4) 口腔・顎眼瞼領域の疾患 |

| | | | | | | |
|--|--------------|---|--|---|-----------|---------------------------------------|
| | | | <p>術</p> <p>4. 下顎隆起形成術</p> <p>5. 嚢胞摘出術</p> <p>6. 顎骨切除術</p> <p>7. 観血的整復固定術</p> <p>8. 下顎枝矢状分割術</p> <p>9. Le Fort I 型骨切術</p> <p>10. 微小血管吻合術</p> | <p>順、器具の使用方法を説明できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・細菌検査について目的、手順、器具の使用方法を説明できる。 ・口蓋隆起形成術の対象疾患、手順を説明できる。 ・下顎隆起形成術の対象疾患、手順を説明できる。 ・嚢胞摘出術の対象疾患、手順を説明できる。 ・顎骨切除術の対象疾患、手順を説明できる。 ・観血的整復固定術（顎骨骨折）の対象疾患、手順を説明できる。 ・下顎枝矢状分割術の対象疾患、手順を説明できる。 ・Le Fort I 型骨切り術の対象疾患、手順を説明できる。 ・血管吻合術の対象疾患、手順を説明できる。 | | |
| | 歯科 麻酔科 | 8 | <p>1. 診察と検査</p> <p>2. モニタリング</p> <p>3. 精神鎮静法</p> <p>4. 全身麻酔法</p> <p>5. 歯科治療における全身的偶発症</p> <p>6. 心肺蘇生法</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・全身状態把握のための診察と検査について説明できる。 ・全身状態把握のためのモニタリングについて説明できる。 ・精神鎮静法について説明できる。 ・全身麻酔法について説明できる。 ・歯科治療における全身的偶発症について説明できる。 ・心肺蘇生法について説明できる。 | 歯科麻酔科 | E-1-4) 歯科医療に必要な麻酔と全身管理 E-1-6) 救急処置 |
| | 口腔 インプラント | 8 | <p>1. インプラントの基本埋入術式</p> <p>2. インプラントの基本補綴術式</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・インプラント埋入に用いる器具を説明することができる。 ・インプラント埋入術式を説明することができる。 ・基本的な歯肉の切開・剥離・縫合を行うことができる。 ・インプラント埋入時に必要な全身的状态の各種検査値を説明することができる。 ・インプラント補綴の種類と特長を説明することができる。 | 歯科インプラント科 | E-3-4)-(3) デンタルインプラント |

| | | | | | | |
|--|--|--|--|---|--|--|
| | | | | <ul style="list-style-type: none">・ インプラントの印象・咬合採得の方法を説明することができる。・ インプラント上部構造の作製方法を説明することができる。・ インプラント上部構造の試適・装着の方法を説明することができる。・ インプラント補綴装置のメンテナンス・口腔ケアについて説明することができる。 | | |
| | | | | | | |

担当グループ一覧表

| グループ名 | 教員コード | 教員名 | |
|-----------|--------|--------|-------|
| 保存修復科 | 1173 | 陸田 明智 | |
| | 1179 | 黒川 弘康 | |
| | 1332 | 高見澤 俊樹 | |
| | 2973 | 石井 亮 | |
| | 2976 | 野尻 貴絵 | |
| | 3098 | 小森谷 康司 | |
| | 3439 | 柴崎 翔 | |
| | 300026 | 関東 英貴 | |
| | 歯内療法科 | 1151 | 武市 収 |
| | | 1204 | 林 誠 |
| 1241 | | 勝呂 尚 | |
| 1803 | | 清水 康平 | |
| 2651 | | 大原 絹代 | |
| 2968 | | 安川 拓也 | |
| 3084 | | 鈴木 裕介 | |
| 歯周病科 | | 950 | 吉沼 直人 |
| | 1065 | 菅野 直之 | |
| | 2700 | 間中 総一郎 | |
| | 3427 | 渡辺 典久 | |
| | 1569 | 高山 忠裕 | |
| 口腔外科Ⅱ | 1284 | 生木 俊輔 | |
| | 2009 | 古川 明彦 | |
| | 2422 | 白土 博司 | |
| | 1728 | 米原 啓之 | |
| 歯科インプラント科 | 1204 | 林 誠 | |
| | 1206 | 月村 直樹 | |
| | 1239 | 大山 哲生 | |
| | 1284 | 生木 俊輔 | |
| | 2422 | 白土 博司 | |
| | 2696 | 秋田 大輔 | |
| | 2700 | 間中 総一郎 | |
| | 2848 | 篠塚 啓二 | |
| | 2851 | 玉川 崇皓 | |
| | 2969 | 安田 裕康 | |
| | 2974 | 本田 順一 | |
| | 3463 | 荻澤 翔平 | |
| | 1006 | 萩原 芳幸 | |
| 総義歯補綴科 | 1569 | 高山 忠裕 | |
| | 1239 | 大山 哲生 | |

| | | |
|-----------|--------|--------|
| | 1307 | 池田 貴之 |
| | 1363 | 李 淳 |
| | 1552 | 伊藤 智加 |
| | 2696 | 秋田 大輔 |
| | 2725 | 浦田 健太郎 |
| | 2839 | 西尾 健介 |
| | 2969 | 安田 裕康 |
| | 3466 | 小川 将史 |
| | 200018 | 岡田 真治 |
| | 300046 | 伊東 慧 |
| | 300047 | 黒田 和己 |
| 局部床義歯科 | 1195 | 大谷 賢二 |
| | 1206 | 月村 直樹 |
| | 1239 | 大山 哲生 |
| | 2696 | 秋田 大輔 |
| | 2969 | 安田 裕康 |
| | 3119 | 大久保 貴久 |
| | 8019 | 金沢 孝憲 |
| クラウンブリッジ科 | 2967 | 平場 晴斗 |
| | 2974 | 本田 順一 |
| | 2978 | 窪地 慶 |
| | 3085 | 高田 宏起 |
| | 3429 | 赤羽 俊亮 |
| | 3451 | 三上 圭子 |
| | 200021 | 木村 文晃 |
| | 1166 | 小峰 太 |
| 歯科麻酔科 | 1085 | 岡 俊一 |
| | 2666 | 武田 ひとみ |
| | 2698 | 北山 稔恭 |
| | 3559 | 金子 啓介 |
| | 2193 | 小柳 裕子 |
| 口腔外科 I | 1114 | 清水 治 |
| | 1251 | 田中 孝佳 |
| | 1284 | 生木 俊輔 |
| | 1368 | 佐藤 貴子 |
| | 2009 | 古川 明彦 |
| | 2422 | 白土 博司 |
| | 2848 | 篠塚 啓二 |
| | 2851 | 玉川 崇皓 |
| | 2962 | 草野 明美 |
| | 3463 | 荻澤 翔平 |

